

「旧東海道を歩く（鶴見～川崎）」

本日の行程（約3.5km）

※太字は裏面に解説があります。

スタート（東海道案内板）

鶴見神社

- ・寺尾稻荷道道標
- ・富士浅間社（富士塚）

信樂茶屋

モニュメント「旅立ち」

寺尾稻荷道道標 (複製)

鶴見橋関門旧跡

鶴見川橋

金剛寺

市場一里塚（稻荷社）

專念寺

横浜熊野神社

夫婦（女夫）橋（林青果店）

八丁畷駅

百年前 昭和初期のハ丁駅 タイル画

無縁塚

松尾芭蕉句碑

八丁畷の地藏尊

芭蕉ポケットパーク

ここに幸あり

川崎宿京入口

小土呂橋（ことろばし）の親柱

旧橘樹郡役所跡記念碑 設立の記

佐藤惣之助生誕の地

佐藤本陣跡地

東海道川崎宿 石碑

川崎宿エリア

八丁畷・市境エリア

鶴見川・市場エリア

鶴見駅周辺エリア

スタート

「旧東海道を歩く（鶴見～川崎）」立寄り地のご案内（抜粋）

①鶴見神社

約1400年前の創建とされる横浜・川崎間最古の社です。旧東海道の休憩所として門前町が賑わいました。境内からは弥生時代の祭祀遺物が発見されており、江戸時代の道標なども移設されています。



②鶴見川橋

慶長年間に架けられた歴史ある橋です。広重の浮世絵に富士山を望む名勝として描かれ、周辺は名物「よねまんじゅう」の茶屋で賑わいました。たもとには幕末の「鶴見橋関門旧蹟」の碑があります。



③金剛寺

平安時代草創の真言宗の古刹です。江戸時代の街道整備で東海道沿いの現在地へ移転しました。観音霊場の札所として有名で、古くから多くの旅人が旅の安全を祈願し、足を止めて休息した場所です。



④市場一里塚

日本橋から5番目（約20km）の一里塚です。横浜市内に現存する一里塚は2箇所のみで、大変貴重な文化財に指定されています。現在は石碑とともに、商売繁盛の神を祀る小さな稲荷社が佇んでいます。



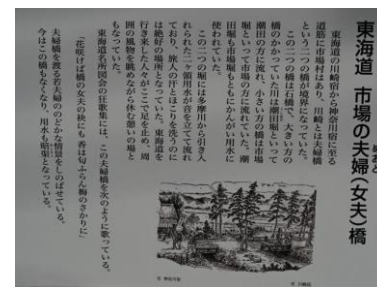
⑤横浜熊野神社

約1200年前創建の古社。明治5年の鉄道敷設の際、本殿を旧東海道沿いの現在地へ人力で引っ張って移築した歴史を持ちます。境内には幕末の狢犬や江戸時代の水盤などが今も残っています。



⑥夫婦橋

江戸時代の市場村（横浜）と川崎宿（川崎）の境界に架かっていた橋です。2組一対の橋が並んでいたことから名付き、旅人の憩いの場となりました。現在は消失していますが、市境に解説板があります。



⑦松尾芭蕉句碑

松尾芭蕉が江戸を発つ際、見送りに来た弟子との別れを詠んだ句碑です。芭蕉はその秋に亡くなったため生涯最後の別れの地となりました。八丁畷駅近くにあり、今も周囲に麦が植えられています。



⑧川崎宿（佐藤本陣跡地）

川崎宿の大名用高級旅館（本陣）の跡地で、14代将軍家茂も宿泊しました。また、阪神タイガース応援歌「六甲おろし」の作詞家として知られる佐藤惣之助の生誕地でもあり、碑が立っています。

